

Good Job! Good Event!

すべては、安心・安全なイベント成功のために。



受講生募集

クレームや事故のない催事(EVENT)環境づくり

最近の日本社会はといった、どうしてしまったのか、以前は倫理を重んじ、世の為、人の為にと、人々の良心からつくられた、安心で安全な社会がありました。

しかし、現代社会の今では理解できないくらいに荒廃し、社会全体の信用が失墜、偽り社会になってしまっています。建設業や食品業、そして環境商品を製造している企業などの偽装が発覚し、更には高齢者を狙ったオレオレ詐欺やリフォーム詐欺など、まさに社会不安が蔓延しています。一般的な催事(EVENT)でも、誇大広告やイベント詐欺、取引契約違反、人身事故、環境破壊など、催事が終了した後で問題が発生して、クレーム処理や金銭的な支払いなどで紛争になり、それが事件や事故につながっています。

この事態を『どうかせんと、いかんバイ』と案じていると、あるヒントが浮かびました。それは主催する側と請負側の上下関係を無くし、互いに信頼し、理解し合い、協力し合って、確認し合える環境づくりを構築することで防止できるのではないかと、そこで、その問題を解決するための調査研究機関として『日本催事倫理協会』を設立いたしました。

日本催事倫理協会は、催事(EVENT)を開催する主催者(注文主、実行委員会)と実施を請負う、すべての関係者との間に約束された内容を契約することによって、安心、安全な催事(EVENT)を開催し、成功という目的を達成させると共に、自主規制の第三者機関としての役割を担い、より新しい催事価値の創造と催事(EVENT)に関連する事業の振興と発展に寄与することを目的に活動する唯一の催事倫理教育啓蒙機関です。

つきましては、この趣旨をご理解の上、ご支援、ご協力、そして協会へのご入会をお願い申し上げます。

日本催事倫理協会 会長 小野 義行

事業システム



催事倫理審査指導員について

催事倫理審査指導員は、養成講習会で履修し、検定試験に合格して協会認定を受けた者です。この講習会は、義務教育を修了した学歴以上の方で経験年齢不問、どなたでも受講できます。
※認定者は催事倫理の審査指導運営に携わり、協会の活動を支援いたします。

● 催事倫理審査指導員養成講習会 ●

催事倫理審査指導員養成講習会カリキュラム(別紙講習会案内参照)

講習タイトルと学習課題		履修時間
1	催事・イベントとは? イベントの総合企画立案・制作の基礎項目と概要の講義	60分
2	イベントの基本構想・基本計画 イベントを開催することの組織づくりや基本企画	60分
3	イベントの構築制作業務・実施計画 ① 総合運営調整業務…資金調達、予算計画、会計処理など ② 会場設定・会場装飾…会場の立地、借用条件など ③ 販売促進、PR活動…広告宣伝、チラシデザイン、配付方法など ④ イベントプログラム…司会、MC、タレント芸能出演など ⑤ イベント制作全般…会場装飾、造作物、サイン看板など ⑥ 音響、照明、特殊効果など、衣装、什器、備品レンタル品など ⑦ 製作物資材運搬…資材運搬(陸送、海運、空輸) ⑧ 進行運営人材の手配…アルバイト等	60分
4	イベント運営業務 ① 会場内インフォメーション…受付、会場案内、会場アナウンスなど ② 会場内セキュリティ業務…警備、医療、防災対策など ③ 会場内物販関連…飲食、展示即売、贈答品など ④ 観客輸送、宿泊…観光バス、電車、ホテル、旅館など ⑤ 会場清掃関係…会場現状復帰清掃、塵芥回収車、ゴミ処理など ⑥ イベント調査…イベントマーケティングリサーチなど	60分
5	契約総論及び各論、各法律関連 契約総論…危険負担・解除・債務不履行 契約各論…請負・委任・雇用・契約書類型 各法律…著作権法・下請け法・景品表示法	60分